

昭和の町 チームラボギャラリー昭和の町

デジタルアートのテクノロジストであるチームラボが、昭和ロマン蔵でアート空間を設けるために豊後高田の昭和の町と手を組みました。鮮やかでインタラクティブな光のショーで知られる日本人集団によるデジタルアートは、世界的なセンセーションを巻き起こし、数カ国で独創的な空間を飾っています。この展示は、豊後高田に設置された 3 つのチームラボ展示作品のひとつです。同作品には、参加したい訪問客のためのインタラクティブな仕掛けが用意されています。

『お絵かき草地おどり』と名付けられたこの作品は、豊後高田市の草地地域で、江戸時代（1603～1868 年）に始まった伝統的な踊りを称えるものです。現在では草地おどりは毎夏、お盆のお祭り中に先祖の魂に敬意を表して披露されています。このインタラクティブ空間では壁に草むらが投影され、その上で、訪問客によって描かれた絵が命を宿します。訪れた人たちはクレヨンを使って人物を塗り、それらがスキャンされて壁に映されます。投影された人物たちは、壁の中で動き回り、お互いに交流します。そして音楽が流れ始めると、草地おどりを踊ります。